

第39回（平成24年度）

岩谷直治記念賞候補者推薦要項

1. 表彰の趣旨

岩谷直治記念賞は、わが国高圧ガス関係諸事業の発展に尽力した岩谷直治氏の業績を記念し、エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で、かつ顕著な産業上の貢献が認められている業績を表彰することにより、斯界の一層の発展を図り、国民生活の向上に寄与することを目的とします。

2. 表彰の対象

(1) 業績の対象

学会・協会及び研究機関が、次の項目に関し優れた技術開発でかつ産業上の貢献を認めた業績とします。

①生産プロセスの合理化により、エネルギーの有効利用、効果的な環境保全、あるいは効果的な災害防止の達成

②エネルギー及び環境に関する独創的な技術の開発

③エネルギー及び環境に関連した新素材、バイオ新技術及びエレクトロ新技術の開発

(2) 対象者

個人又は研究グループとし、グループの場合はその代表者を候補者とします。

なお、候補者は必ずしも学会・協会の会員又は研究機関の所属員であることを要しません。

3. 表彰の内容

原則として毎年2件以内とし、1件について賞状、賞牌及び副賞300万円を贈呈します。

4. 推薦方法

(1) 推薦者

推薦者は関連する学会・協会又は研究機関の代表者とします。

(2) 推薦書

所定の推薦書に必要事項を記入し、正本1部・副本（コピー）12部を、業績主題に関する資料（1～2編、1編につき13部）とともに提出して下さい。なお、提出された推薦書及び添付資料は返却致しませんのでご承知おき下さい。

※ 推薦書は当財団のホームページからダウンロードできます。推薦書作成に際し、各記入項目の行数は必要に応じ増加できますが、枚数はA4サイズ4枚以内に収めて下さい。

(3) 推薦件数

推薦者1名について2件以内とします。

(4) 推薦期間と締切日

推薦期間は、平成24年6月1日(金)から8月31日(金)までの3箇月間です。
締切日は、平成24年8月31日(金)当日必着とします。

5. 選考方法

下記委員からなる選考委員会により選考します。

選考委員長	古崎新太郎	東京大学名誉教授
選考副委員長	秋元 肇	(財)日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター所長
選考委員	石田清仁	東北大学名誉教授
	石田 愈	東京工業大学名誉教授
	岡田益男	(独)八戸工業高等専門学校校長 東北大学名誉教授
	奥山雅則	大阪大学ナノサイエンスデザイン 教育研究センター特任教授 大阪大学名誉教授
	北原 武	帝京平成大学教授 東京大学名誉教授
	冷水佐壽	(独)国立高等専門学校機構顧問 大阪大学名誉教授
	牧野俊郎	京都大学教授
	安井 至	(独)製品評価技術基盤機構理事長 東京大学名誉教授
	渡辺公綱	東京薬科大学客員教授 東京大学名誉教授

6. 選考結果の通知

選考結果は、平成24年11月下旬に推薦者及び候補者に対して文書により通知します。

7. 贈呈式

受賞者に対する贈呈式は、平成25年3月7日(木)に行う予定です。

提出先・連絡先

公益財団法人 岩谷直治記念財団

住 所： 〒104-0032

東京都中央区八丁堀2-13-4 第三長岡ビル5階

電 話： 03-3552-9960

FAX： 03-3552-9961

担 当： 常務理事・事務局長 小松征男 (koma-iku@iwatani.co.jp)

URL： <http://www.iwatani-foundation.or.jp/>

e-mail： information@iwatani-foundation.or.jp

第39回（平成24年度）

受付月日	
受付番号	

岩谷直治記念賞候補者推薦書

平成24年 月 日

公益財団法人 岩谷直治記念財団 御中

1. 代表研究者（開発者）		
ふりがな		
氏名	:	
生年月日	:	
所属・職名	:	
所在地	:〒	電話番号： — —
		内線：
e-mail	:	
自宅住所	:〒	電話番号： — —
2. 業績の主題		
3. 代表研究者の略歴（主要学歴、職歴、受賞歴等を記入して下さい。）		
4. 共同研究者		
氏名（ふりがな）	生年月日	所属・職名

5. 業績の概要（目的、意義及び成果 - 産業上の実績等：例えば、売上高、今後の普及見通しなどを記入して下さい。）

6. 推薦理由

7. 候補者についての特記事項（過去にあげられた業績などを記入して下さい。）

推薦者

学会・協会
研究機関

所在地

〒

電話番号

内線（ ）

会長
代表者

印

上記の通り岩谷直治記念賞の候補者を推薦します。